

みずほCustomer Desk Report 2020/08/27 号 (As of 2020/08/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.45 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.39	1.1834	126.02	1.3147	0.7198
SYD-NY High	106.56	1.1839	126.12	1.3219	0.7239
SYD-NY Low	105.96	1.1773	125.27	1.3118	0.7188
NY 5:00 PM	105.98	1.1830	125.36	1.3210	0.7233

NY DOW	28,331.92	83.48	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	11,665.06	198.59	日本10年債	0.040	1.00bp
S&P	3,478.73	35.11	米国2年債	0.151	▲0.10bp
日経平均	23,290.86	▲ 5.91	米国5年債	0.288	▲0.79bp
TOPIX	1,624.48	▲ 0.75	米国10年債	0.688	0.00bp
シカゴ日経先物	23,290.00	▲ 15.00	独10年債	-0.4125	1.45bp
ロンドンFT	6,045.60	8.59	英10年債	0.3010	3.95bp
DAX	13,190.15	128.53	豪10年債	0.9430	5.40bp
ハンセン指数	25,491.79	5.57	USDJPY 1M Vol	6.51	0.04%
上海総合	3,329.74	▲ 43.84	USDJPY 3M Vol	7.88	▲0.04%
NY金	1,952.50	29.40	USDJPY 6M Vol	7.46	▲0.04%
WTI	43.39	0.04	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	152.46	▲ 0.19	EURJPY 3M Vol	7.98	▲0.05%
ドルインデックス	93.01	▲ 0.01	EURJPY 6M Vol	7.98	0.00%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月26日	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月	11.2%
				4.8%

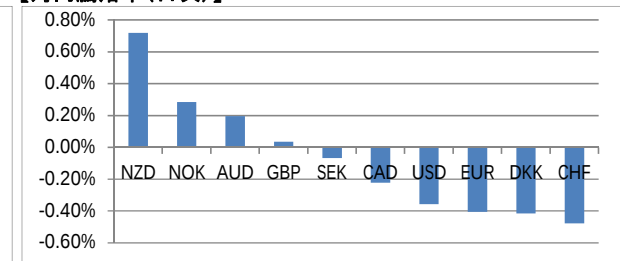
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月27日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S -32.5%	-32.9%
	21:30	米 個人消費	2Q S -34.2%	-34.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	22-Aug 1000k	1106k
	22:10	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	7月 2.0%	16.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.1780-1.1900	125.30-126.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は東京時間に高値106.56まで上昇するも、海外時間に入ると米金利上昇一服などを受けてドル全面安の展開のなか、ドル円も下落に転じ、NY市場は106円ちょうど付近でクローズ。本日は日本時間の夜に、FRBパウエル議長によるジャクソンホール会議での講演を控えて、イベントまでは様子見姿勢が強い展開となりそう。7月の米FOMC議事要旨で、FRBはゼロ金利政策を長期にわたって維持すると公約する「フォワードガイダンス」を導入する考えを表明。物価目標に到達するまでゼロ金利を維持する案など、本日の講演で政策の具体的な手法に言及があれば、米金融緩和の長期化観測から、米金利低下とともにドル売りが強まる展開も想定される。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	フル	フル	フル	ペア	ペア	フル	ペア	ペア	ペア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村	
フル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	フル	ペア	ペア	

東京	東京時間のドル円は106.39レベルでオープン。月末を控えた海外勢のドルの買戻しに朝方は106.56まで上昇。翌日、FRBパウエル議長講演を控えることもポジション調整を加速させた。午後に入ると前日大幅高を見せたユーロ円の反落にドル円も軟化。結局、106.40レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.40レベルでオープン。ドル円は若干の円買い。月末の円需要と木曜日のパウエル議長講演を控えての動きとの声が聞かれた。一時106.16まで売られたが、結局106.32レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3139レベルでオープン。1.3136-65の狭いレンジで取引され1.3144レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ニューヨーク市場のドル円は106.32レベルでオープン。朝方は米7月耐久財受注額(前月比ベース)が予想4.8%増に対して結果11.2%増だったことが好感され、ドル買いが強まり、106.46まで上昇。しかし、米金利の上昇が一服したことや、ポンド、豪ドル、カナドルなどに対するドル売りが強まったことから、上値が重くなり106.00手前まで反落。午後は106.00を挟んだ狭いレンジで推移。翌日にパウエルFRB議長のジャクソンホール会談講演(今年はバーチャル形式での開催)を控え、様子見ムードが強まる中、S&Pやナスダックの史上最高値更新も特段材料視されず、結局、105.98レベルでクローズ。一方、ユーロドルは、1.1796レベルでオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ、ストップロス巻き込みながら下値模索の展開。予想以上に好調な米7月耐久財受注の結果を背景にドル買いが強まったこともあいまって1.1773まで安値を更新。売り一巡後、ドル全面安の流れにサポートされ、朝方の下落分を戻し、1.1839まで反発。午後は「EUの通商担当のホーガン欧州委員が26日に辞任」とのヘッドラインが流れるも市場の反応は限定的。翌日のパウエル議長講演を控え、1.1830辺りで方向感のない推移が続き、結局、そのまま1.1830レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。